

令和2年3月5日 絵本贈呈式

3月5日(木) 10:00～ 草津市役所 3F 第2応接室



NPO草津市
市内業者会 教育保育69施設へ支援

絵本計223冊を寄贈

草津市を拠点とする建設関連事業者でつくる「NPO法人 草津の未来を建設する市内業者会」（森川守理事長・榑千商代表取締役）は5日、拠点とする草津市の教育事業への支援として、市内の保育所・幼稚園・こども園などの就学前教育保育施設全69施設を対象に、計223冊の絵本を寄贈した。

同法人は08年の設立以来、社会貢献活動の一環として災害時の緊急出動、清掃や不法投棄撲滅活動、宿場まつりへの協賛参画、教育事業への寄付など草津市へ幅広い支援活動を行っている。教育事業へは要望を聞いて必要とされる教材などを10年から毎年寄贈、これまで幼稚園・保育所へ絵本、小中学校へボールや地図、かまどベンチの設置、空気清浄機などを贈ってきた。今回は6度目の低年齢児施設への寄贈で、施設の



贈呈式に出席した（左から）守野副理事長、感謝状を持つ辻副理事長、寄贈品の絵本を持つ森川理事長、目録を手にする橋川市長、武元副理事長、田中子ども未来部長

規模や必要な絵本の種類に応じて最適な冊数・中身の寄贈本を準備した。

草津市役所で行われた贈呈式には、草津市より橋川市長、田中祥温子ども未

来部長と就学前教育関連職員ら、NPO草津からは森川理事長と辻田夫副理事長、守野洋史副理事長、武元溪副理事長が出席した。森川理事長が「教育環境の充実のため役立てて頂ければ幸いです。防災・安全福祉・教育など多方面での支援活動を今後も継続して参ります」と述べ、橋川市長に贈呈目録を手渡した。橋川市長は「毎年欠かさず本市の保育環境の向上に寄与頂き深く感謝申し上げます。乳幼児期の良い絵本との出会いは豊かな心情と科学的な見方、想像力、コミュニケーション力を育み

将来にわたって心豊かに生きる力の基礎となる。建設活動のみならず絵本による人づくりでも草津の未来への大きな貢献を感謝したい」との言葉とともに、森川理事長に感謝状を贈った。さらに、本来では寄贈を受ける施設を代表して矢倉幼稚園で行われる予定だった贈呈式に触れ「コロナウイルス対応のため今回はやむなくこのような形となり残念だが、必ず絵本を頂いたよ」とお披露目し、皆さま方の思いを子ども達に伝えます」と約束した。贈呈式後、絵本は早々に各施設に配布される。